

講義名	対人コミュニケーション		
科目区分	学部フリーゾーン		
担当教員	中川 典子		
開講期・曜日・時限	前期 火曜日 5時限		
	2018年度 人間社会学部 人間健康学科 / 2018年度 人間社会学部 観光学科 / 2018年度 人間社会学部 人間社会学科 / 2018年度 経済学部 経済情報学科 / 2018年度 経済学部 経済学科 / 2018年度 商学部 マーケティング学科 / 2018年度 商学部 経営学科 / 2017年度 人間社会学部 人間健康学科 / 2017年度 人間社会学部 観光学科 / 2017年度 人間社会学部 人間社会学科 / 2017年度 経済学部 経済情報学科 / 2017年度 経済学部 経済学科 /		
履修開始年次	2年生	単位数	2
		講義コード	25050

### 主題と概要

21世紀になってSNSや携帯電話による情報伝達が主流になったことに伴い、現在、face to faceで他社と対面で話す機会が希薄化している。本コースでは、社会生活を営むうえで基本となる対人コミュニケーションについて、その理論と実践を学ぶことにより、現代社会で生き抜くためのコミュニケーション能力を育成する。本コースでは扱うテーマは自己、対人、集団・組織、そして異文化の状況におけるコミュニケーションのフォーカスをあてた授業を展開する。

### 到達目標

- (1) コミュニケーション学におけるさまざまな理論を理解し、実生活に応用する力を養う。
- (2) 自己分析力を養い、自らのコミュニケーション行動を理論と照らし合わせて考察し、次なるステップへとつなげる。
- (3) 個人に内在する多様性を尊重し、他者を理解する態度を養う。
- (4) 授業内のグループワークを通じて、傾聴力と協調性を養う。
- (5) リーダーシップやコミュニケーションがグループダイナミクスに与える影響について考察し、理解する。
- (6) 個人発表を通して、プレゼンテーション力を培う。
- (7) 上記を踏まえて、現代社会で他者と協働し、共存するためのコミュニケーション力を養う。

### 提出課題

「予習・復習」の欄を参照のこと。

### 評価の基準

- (1) 課題 (30%)
- (2) 発表 (20%)
- (3) 最終レポート試験 (40%)
- (4) 授業参加および態度 (10%)

### 履修にあたっての注意・助言他

(1) コースの評価は、上記の評価基準の(1)～(4)のすべてを完了した者に対して与えられる。  
(2) 講師が入室したときに教室にいない学生は遅刻者と見なす。特別な理由がない限り遅刻厳禁。  
(3) 規定の時間以上の遅刻は欠席となる。また、規定以上の回数欠席すると単位が認定されない。

\* 詳細は、第1回目の授業で知らせる。

### 教科書

.使用しない。

### プリント資料及び参考文献

毎回、授業開始時にレジメを配布し、演習の際には必要なハンドアウトを適宜配布する。  
(参考文献)  
深田博己(1998)「インターパーソナルコミュニケーション」 北大路書房  
深田博己(2001)「コミュニケーション心理学」 北大路書房  
末田清子・福田浩子(2003)「コミュニケーション学」 松柏社  
星野欣生(2004)「人間関係づくりトレーニング」金子書房  
久米昭元、長谷川典子(2007)「ケースで学ぶ異文化コミュニケーション」 有斐閣双書

### 授業計画

- 回 授業内容
1. ガイダンス、自己紹介
  2. 自己とコミュニケーション(1)
  3. 自己とコミュニケーション(2)
  4. 自己とコミュニケーション(3)
  5. 対人コミュニケーションのメカニズム(1)
  6. 対人コミュニケーションのメカニズム(2)
  7. 対人コミュニケーションのメカニズム(3)
  8. 非言語コミュニケーション(1)
  9. 非言語コミュニケーション(2)
  10. ビジネスマナーとコミュニケーション(1)
  11. ビジネスマナーとコミュニケーション(2)
  12. ビジネスマナーとコミュニケーション(3)
  13. 集団とコミュニケーション
  14. 集団とリーダーシップ
  15. 文化とコミュニケーション
- \* 授業内容は毎回の進捗状況により、次回に持ち越すことがある。

### 予習・復習

復習として、毎回、授業内容に関する感想や考察をジャーナル形式で提出する。また、毎回、コミュニケーション能力検定試験対策のための課題を課す。

### 備考

このコースは一方向的な講義のクラスではないため、受講生の真摯、かつ、積極的な参加を期待する。  
第1回目の授業で履修に関する重要事項を伝えるので、必ず出席すること。